

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	体育(講義)		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	1(30)
対象学年	1年(前期)	担当教員	木村 靖臣
授業の方法	講義	実務経験	保育園 園長
履修区分	必修	保健体育中高教員免許を取得し、保育園長の経験を活かし、安全に心身の発達を支援することを中心に指導する。	
到達目標	幼児体育に必要な乳幼児の発達の理解。 安全、心身の発達支援としての運動指導能力の習得。		
評価方法	定期試験、取り組み意欲、出席回数など総合的に評価		
授業内容	幼児期における発達の特性の理解の基、身体的な遊びを保育・教育的に考え「幼児体育」として構造的・体系的に学ぶ。 ・幼児体育の意義 ・現代社会における子どもの生活環境、幼児教育現場の役割 ・領域「健康」における幼児体育 ・幼児期の身体的体力、精神的体力 ・体力、運動能力と体育遊び など		
使用教材	幼児体育教本		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	体育(実技)		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	1(30)
対象学年	1年(後期)	担当教員	木村 靖臣
授業の方法	演習	実務経験	保育園 園長
履修区分	必修	保健体育中高教員免許を取得し、保育園長の経験を活かし、安全に心身の発達を支援することを中心に指導する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務上必要な基礎体力の養成、指導領域の運動技術の体得</li> <li>・活動に必要な環境構成(教具選定、発達段階に応じた大衆的・構造的な内容)をもとに、楽しく活動を構成、評価する</li> <li>・上記の目標を基に、子どもが楽しく活動し、体・心・頭を育めるよう常に工夫、研鑽に努める姿勢を持つ</li> </ul>		
評価方法	定期試験、取り組み意欲、出席回数など総合的に評価		
授業内容	<p>準備運動→身体ほぐし運動→回毎の課題運動→整理運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体ほぐし運動…個人や複数で体を動かす楽しさや心地よさを味わう</li> <li>・多様な動きを作る運動…調整力を高めるバランス系(マット運動、縄など) 身体を移動する能力を高める移動系(ラダーなど) 教具を操作する運動の力を高める操作系 (ボール、縄跳びなど)</li> <li>・複合的運動…授業内容を組み合わせて運動会の種目を考え、指導計画を作成</li> </ul>		
使用教材	幼児体育教本		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	保育原理		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	2(30)
対象学年	1年(前期)	担当教員	中山 知子
授業の方法	講義	実務経験	幼稚園 園長
履修区分	必修	保育士資格、幼稚園教諭免許を取得し、公立幼稚園園長の経験を活かし、保育の理念と概念を中心に指導する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達と保育について知識をもつことで幅広い視野で考える力を身に付ける。</li> <li>・子どもの発達に応じたよりよい保育とは何かについて考え、実践力につなげていけるようになる。</li> </ul>		
評価方法	定期試験の成績(80%) 出席状況・授業態度(20%)		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の理念と概念(「保育とは」、保育の捉え方、保育者の専門性)</li> <li>・保育所等に求められる社会亭役割と責任</li> <li>・子ども・子育て支援新制度と、保育に関わる関係法令</li> <li>・保育の実施体系の変容、設置や運営基準</li> <li>・保育所保育指針と、それに基づく保育</li> <li>・保育の目標と方法、計画立案</li> <li>・日本の保育の思想と歴史 など</li> </ul>		
使用教材	保育原理(中央法規 新基本保育シリーズ1)		
参考図書			
その他	テキストと合わせて「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を持参すること		

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	子ども家庭支援論		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	2(30)
対象学年	1年(後期)	担当教員	中山 知子
授業の方法	講義	実務経験	幼稚園 園長
履修区分	必修	保育士資格、幼稚園教諭免許を取得し、公立幼稚園園長の経験を活かし、子育て家庭を支援するという保育士の役割を理解させる。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育を司る職務とともに、子育て家庭を支援するという重要な保育士の役割を理解し、その実際を学ぶ。</li> <li>・子ども子育て支援新制度の仕組みを学び、関係諸機関の役割や体制を理解し、連携していく力を身に付ける。</li> </ul>		
評価方法	定期試験の成績(80%) 出席状況・授業態度(20%)		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭支援の意義と必要性</li> <li>・子ども家庭支援の目的と機能</li> <li>・子育て支援、次世代育成支援施策</li> <li>・子育て支援のための社会資源</li> <li>・保護者と地域の子育て実践力向上を支援すること</li> <li>・子育て支援の課題と展望 など</li> </ul>		
使用教材	子ども家庭支援論(中央法規 新基本保育シリーズ5)		
参考図書			
その他	テキストと合わせて、保育所保育指針を持参すること		

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	保育の心理学		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	2(30)
対象学年	1年(後期)	担当教員	中山 知子
授業の方法	講義	実務経験	幼稚園 園長
履修区分	必修	保育士資格、幼稚園教諭免許を取得し、公立幼稚園園長の経験を活かし、幼児の心と体の発達を中心に指導する。	
到達目標	幼児理解の裏付けとして幼児の心と体の発達の道筋を学び、保育力につなげる。		
評価方法	定期試験(80%) 出席状況(20%)		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を理解とその意義</li> <li>・子どもの発達と環境(遺伝と環境、環境と発達)</li> <li>・子どもの発達の捉え方(発達観 子ども観 保育観)</li> <li>・保育実践の評価の意味、記録の方法</li> <li>・社会情動的発達(自己と感情、他者理解、他者との関わり)</li> <li>・運動機能の発達、(幼児の身体発達と発育)</li> <li>・認知の発達(数、図形の認知、ことば、文字) など</li> </ul>		
使用教材	保育の心理学(中央法規 新基本保育シリーズ8)		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	環境 I		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	1(30)
対象学年	1年(前期)	担当教員	中山 知子
授業の方法	演習	実務経験	幼稚園 園長
履修区分	必修	保育士資格、幼稚園教諭免許を取得し、公立幼稚園園長の経験を活かし、幼児期の教育は環境を通して行うことを指導する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の教育は環境を通して行うものである、という基本にたち環境による保育について学ぶ。</li> <li>・領域「環境」について学び、その目標達成のための教材や保育者の援助について学ぶ。</li> </ul>		
評価方法	定期試験の成績(60%) 演習への参加態度(20%) 課題への取り組みと提出(20%)		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を通して行う教育とは(幼児教育における環境の捉え方)</li> <li>・領域「環境」の教育的意義</li> <li>・領域「環境」と保育者の役割(意図的に環境に出会わせる保育者の援助)</li> <li>・身近な材料で遊びを構成する(新聞紙、紙皿、紙コップ)</li> <li>・年性別にねらいと内容を考える(領域「環境」の目標を年齢別に読み解く)</li> <li>・子どもの主体性と直接体験</li> <li>・動物や植物との出会い、飼育や育てること など</li> </ul>		
使用教材	保育内容の指導法(環境) (玉川大学出版部)		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	教育原理		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	2(30)
対象学年	1年(前期)	担当教員	堀 慶
授業の方法	講義	実務経験	—
履修区分	必修		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の意義、目的及び児童福祉等のかかわりについて理解する</li> <li>・教育の思想や教育制度についても理解を深める</li> <li>・教育実践の様々な取り組みについて理解する</li> </ul>		
評価方法	定期試験、レポート、授業態度を考慮		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育とは何か、意義について考える</li> <li>②教育の目的・目標の設定、変遷について理解する</li> <li>③教育と児童福祉の関連性、少子化対策と子育て支援について</li> <li>④諸外国の教育思想について(ルソー、フレーベル、コメニウス、ペスタロッチ)</li> <li>⑤日本の教育の歴史と外国の教育の歴史</li> <li>⑥教育制度の基本 近代教育の起こり</li> <li>⑦教育の法律について</li> <li>⑧生涯学習の基本理念</li> <li>⑨現代の教育の問題と質の向上</li> </ul>		
使用教材	基本保育シリーズ② 教育原理(中央法規)		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	人間関係 I		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	1(30)
対象学年	1年(前期)	担当教員	堀 慶
授業の方法	演習	実務経験	—
履修区分	必修		
到達目標	五領域の一つ「人間関係」について子どもと大人、子ども同士という視点から見た子どもたちの発達・学びの様子と、その発達・学びを保育者としてどのように支えるかを具体的に学び、実践に活かせるようにする		
評価方法	定期試験、レポート、授業態度を考慮		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間関係」が生まれた背景</li> <li>・保育指針における「人間関係」</li> <li>・遊びを通しての生まれる人とのかかわり</li> <li>・ケアについて</li> <li>・人とのかかわりを支える保育者の役割</li> <li>・インクルージョンの実現</li> <li>・文化の多様性</li> <li>・保幼小連携</li> </ul>		
使用教材	「保育内容の指導法(人間関係)」玉川大学		
参考図書	平成29年度告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領<原本> (株式会社チャイルド本社)		
その他			

作成日:2021年4月1日



令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん シラバス

科目名	人間関係Ⅱ		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	1(30)
対象学年	1年(後期)	担当教員	堀 慶
授業の方法	演習	実務経験	—
履修区分	必修		
到達目標	<p>・子どものかかわりのみでなく、保護者との接し方の基本について学び、具体的な事例を通して一人ひとりが考え、対応のコツをつかみ、円滑な保護者との関係づくりについて深め、スキルの向上を目指す</p>		
評価方法	定期試験、レポート、授業態度		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との接し方の基本(話し方・表情・言葉使いなど)</li> <li>・生活習慣、発達についての事例学習</li> <li>・園生活を通じた保護者とのやり取りの事例学習</li> <li>・子どもトラブルについて具体的事例を通じた学習</li> <li>・保護者とのトラブルについて具体的事例を通じた学習</li> <li>・行事における関り学習</li> </ul>		
使用教材	保護者対応のコツ (株式会社自由国民社)		
参考図書	平成29年度告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園 教育保育要領<原本> (株式会社チャイルド本社)		
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぶろん シラバス

科目名	子育て支援		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	1(30)
対象学年	1年(前期・後期)	担当教員	関谷 昭吉
授業の方法	講義	実務経験	
履修区分	必修		
到達目標	保育士の子育ての専門性を背景とした保護者に対する相談助言、情報提供、行動見本の提示等の支援についてその特性と展開を具体的に理解する。保育士の行う子育ての支援について様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を実践事例を通して理解する。		
評価方法	定期試験(70%) 出席状況(30%)		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもの保育とともに行う保護者支援</li> <li>②保護者との相互理解、信頼関係の形成</li> <li>③家庭への支援ニーズへの気づきと多面的な理解</li> <li>④子ども保護者の理解把握</li> <li>⑤支援の計画と環境構成</li> <li>⑥実践の評価とカンファレンス</li> <li>⑦職員間の連携と協働</li> <li>⑧自治体、関連機関との連携と協働</li> <li>その他</li> </ul>		
使用教材	新基本保育士シリーズ19 子育て支援(中央法規)		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日

令和3年度 にいがた製菓・調理専門学校えぶろん シラバス

科目名	障害児保育		
対象学科	保育科	単位数(時間数)	2(60)
対象学年	1年2年(後期)	担当教員	長澤 正樹
授業の方法	演習	実務経験	
履修区分	必修		
到達目標	障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害及びその保育個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮、障害児その他の特別な配慮を必要とする子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法、障害児その他の特別な配慮を要する子どもへの家庭支援や関係機関との連携・協働について理解する		
評価方法	定期試験、出席状況		
授業内容	①「障害」の概念と障害児保育の歴史的変遷 ②障害のあるこどもの地域社会への参加等、障害児保育の基本 ③肢体不自由児、知的障害児の理解援助 ④視覚・聴覚・言語障害児等の理解援助 ⑤発達障害児の理解と援助 ⑥広汎性発達障害等について ⑦重症心身障害児のケアの理解と援助 ⑧指導計画・支援計画作成 その他		
使用教材	作成資料の配布		
参考図書			
その他			

作成日:2021年4月1日